

## ハワイからの宝物



コーチ 比与森 正志

今から8年前の1999年を振り返らせていただきます。

その年の4月、レスリング経験者の遠藤が立澤先輩のケーキ責めにより入部、松浦が他クラブに誘われた体育会合同飲み会に参加したきっかけにより入部することになりました。そして、7月、4年生2名は、西日本選手権にて3位（吉井先輩）、5位（立澤先輩）に輝き、この年は、両先輩の最後の年ということで、私達2年生バカトリオも秋季リーグ戦にむけ盛り上がっていました。

そんな雰囲気での9月のある日の練習前…。

安田コーチ「図書館前でシャドーレスリングをしている外国人がおっいたらしいぞ〜。」

バカトリオ「まじっすか〜！！??？」

聞くところによると、顧問の伴先生が早朝の出勤途中、図書館前にてその奇妙な光景を目の当たりにされたとのこと。レスリング部の練習場所を伝えていただき、ハワイ大学からの交換留学生ダニエル・シールが、それ以降1年間練習に参加することとなりました。

当時の私達は、「どんな奴なんや〜。」「強いんかな？」と色んなことを考えていましたが、実際会うととても明るく、とても真面目で、かつとてもファイトのある人でした。

彼のデビュー戦は、吉井先輩と立澤先輩の最後の試合である秋季リーグ戦でありました。その秋季リーグ戦、4年生とダニエ

ルの活躍により2部リーグ3・4位決定戦で天理大学に勝利し、当時では近年稀にみる大金星をあげることができました。そのときの晩は、盛りに盛り上がりました！店員に絡む部員、E藤のもんじゃ放出、ナンパするDニエル。レスラー学生証inカラオケBOX。延々乱宴。あ〜〜、おもろかった。

その感動の後、2000年、私達は、新たなスタートを切ることになりました。とにかく、両先輩が抜けた後、何が起こるかわからないようなチームでのスタートとなりました。

3月合宿…ダニエルを含む6名は、安田コーチの車で刑務所に放り込まれるような気分です。東亜大学合宿所3名、南九州大学合宿所3名…！！

さて、無事生還したレスラー達からのコメントです。まず東亜大学から…。

遠藤「いや〜、あいつら毎日が合宿ですね〜。強いわけですよ。」

浅井「毎日自炊って大変だな〜、それだからやっぱり料理できるげ〜、あいつらの料理旨いげ〜。」

比与森「こんな合宿所無理や、他のレスラーの宿舎へ泊まるだけで胃痛い。」

次に、南九州大学…。

松浦「…(無言)」

関「あいつ歓迎会でチ○ポ出しよった〜！！」

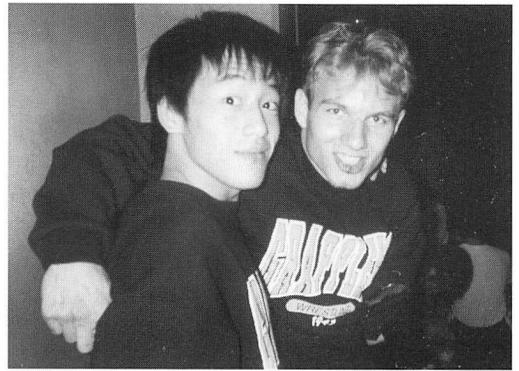
ダニエル「CAMOGA！！」

そんな思い出に残る合宿、そして春季リ

ーグ戦を終え、7月、交換留学生ダニエルとのお別れの時期がやってきました。彼は、関西大学に大きな力となり、そして私は、大きな影響を受けました。それは勉強とスポーツの両立でした。彼は本当に日本語を勉強し、そして教養も深めていました。かつ、レスリングに対しても熱く取り組んでいました。たしかに技術的に上手ではありませんでした。しかし、試合に対するモチベーション、勝利への意欲、譲れない想い、そのような気持ちは誰よりも強く、当時の私は強く感動し、彼から学ぶことがたくさんあり、心に大きな宝物を得ることができました。特に「よく遊び、よく学ぶ」を大学生になって改めて身に染みて感じることができました。彼だからこそ色々な経験が出来ることだと思いますが、彼がいたからこそ私も「よく遊び、よく学ぶ」ことが出来たと思います。「よく遊び」に関しては、賛否両論あると思いますが、私にはそれが合っていたと自負いたします。そして、「よ

く学ぶ」は「よく練習する」に通じ、これに関しては、諸先輩方からもいつも言われてきたことであり、現在、私も学生に言い続けております。そしてまた、社会人になった今も「よく学ぶ」を自分に言い聞かせております。

最後に彼の言葉を借りたいと思います。いつでもどこでも苦しい時に、気合いを入れたい時に、「CAMOGA!!」



畏友ダニエルと「CAMOGA!!」